

タスクベースで、様々な速度の音声をリスニング

[京都府立北嵯峨高等学校] ■ 澤田 一平 先生

CNN Workbook Extended Course 2018

学年 高校1年

投入授業 土曜補修

目的

✓ 時事英語のリスニングでネイティブの話す速さに慣れ、正確な情報をくみ取る練習をする

学習の流れ

土曜補修1コマ(70分)

STEP 1 ナチュラルスピードを2回聴き、聴き取れた情報・語句をメモ欄に書き、ペアで情報をシェアする

STEP 2 ナチュラルスピードの音声を85%-80%の速度に調整しなおしたものを2回聴く

STEP 3 Get the pointとComprehension checkを解く

STEP 4 クラス全体で本文の確認

STEP 5 単語の確認と発音の練習

STEP 6 英文トランスクリプトを読みながら聴く

STEP 7 先生が英文を読み、生徒がリピートする

STEP 8 構造など解説を配布

STEP 9 スラッシュリスニング(文のまとまりごとにリスニング)

STEP 10 ナチュラルスピードとナチュラルスピードの1.25倍速でオーバーラッピング

STEP 11 ナチュラルスピードの1.5倍速を聴く

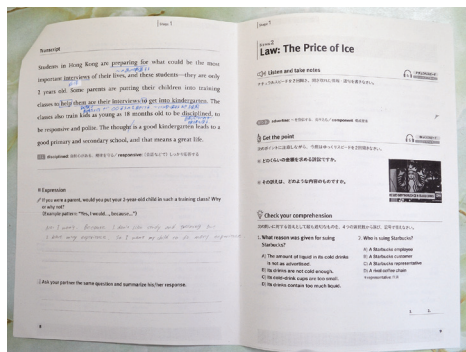
STEP 12 速読を3回、ペアで競いあう

STEP 13 ナチュラルスピードでシャドーイング

STEP 14 ペアでアイデアを出し合い(意見交換は日本語可)、Expressionを書く

生徒の反応：

初回の授業に比べて、練習を重ねることで聴きながら内容を理解できるようになってきている。オーセンティックな素材からネイティブが話すスピードの速さを知り、繰り返し練習することで、聴けるようになった。



生徒が書いた Expression

先生からのコメント：

本の流れに沿ってやっているのので、授業やアクティビティに無駄がなく満足感が得られる。また、タスクベースになっているので、生徒が活動しないと授業が成立しない点良かった。以前から生徒主体の教材を活用したいと思っていたので、思い切って導入してよかった。今までは受験の総合問題集を利用していたが、世界で日々起きていることを教材化しており Up-to-date で面白い。



実践例

● 京都府立北嵯峨高等学校